

図画工作科学習指導案

平成31年1月17日(木)
三原市立木原小学校
教諭 原田圭輔

- 1 学 年 第5・6学年 (第5学年：3名，第6学年：5名 計8名)
- 2 場 所 5・6年学習室，5・6年教室
- 3 題材名 つなげて 広がる 私たちの世界
・第5学年：赤・青・黄の世界
・第6学年：白の世界

4 題材について

○題材観

本題材は、小学校学習指導要領の第5学年及び第6学年A表現(1)「ア 造形遊びをする活動を通して、材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや、構成したり、周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること。」、A表現(2)「ア 造形遊びをする活動を通して、活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること。」を受けて設定したものである。

本題材は、同一色(第5学年：赤・青・黄，第6学年：白)の様々な材料を使った造形遊びである。「つなげる」という言葉から材料を「結ぶ」「貼りつける」「並べる」「置く」「重ねる」等の造形行為を試しながら行い、材料における色や形、材質等の違いに気付く、場所や空間の特徴を生かして活動ができる学習である。活動のはじめは、自分で行っていても、他の児童の造形行為をまねしたり、他の児童と一緒に活動をしたりすることで、イメージを広げて造形遊びを楽しむことができると考える。

○児童観

本学級では、第5学年児童が10月に、第6学年児童が昨年度の10月に「流れる風をつかまえて」という造形遊びを行っている。ビニル袋や紙テープなどを使って見えない風に見えるようにさせる活動を行った。材料の特徴や色、形、場所や空間の特徴を活かして活動をすることができた。

しかし、材料をテープで「貼りつける」しか造形行為が見られず、自分が選んだ場所でしか活動をしなかったため、友達がしていることを見ることもなく、新しい学びが少なかった。また、造形遊びについては高学年では経験があまりなく、様々な造形行為や材料に触れていない。

本学級の児童は、図画工作の時間に一生懸命集中して取り組む児童である。12月に行ったアンケートで、「図画工作の授業は好きですか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は100%であった。その理由として、「つくるこ

とが楽しい」「自分が想像したものを自由に作品にできるから」という造形活動の楽しさをあげるだけでなく、「家ではつくることができないものをつくることができるから」「家では使えない材料を使うことができるから」という学校でしかできない特別感をあげる児童も見られた。また、「想像をはたらかせて、自分の描きたいものやつくりたいもの、したいことを思い付くことができますか」の質問に対して、100%の児童が肯定的に答え、「イメージ通りに、かいたり、つくったりできますか」の質問に対して、88%の児童が肯定的に答え、造形活動に対して想像豊かに、自分の表現したいことを作品に表すことができているということが分かった。

しかし、「自分の作品について、友達から感想や意見、質問を言われることが好きですか」の質問に対して、30%の児童が否定的に答えていた。友達から自分の作品について言われることを受け入れることが難しい児童がいることが分かった。

○指導観

指導にあたっては、次の3点に留意する。

1点目は、題材との出会わせ方を大切に、児童の発想や構想につなげていくことである。まず、「つなげる」という言葉から思いつく行為を考えさせる。「結ぶ」「貼りつける」「並べる」「置く」などの造形行為を出させ、実際にそれらの造形行為を指導者が見せる。また、活動で使う材料について説明をする。第5学年、第6学年として使用する材料は同じであるが、「色」（第5学年：赤・青・黄、第6学年：白のみ）が違うことに気付かせる。そして、5・6年学習室を半分に分けて活動することを知らせ、同学年の児童と場所や空間を共有するだけでなく、異学年児童とも空間を共有していることをつかませる。「つなげる」という言葉から様々な造形行為があることをつかませたり、様々な同一色の材料があることや活動場所を見せたりすることで、想像を膨らませ、活動への意欲を高める。

2点目は、表現する過程での児童の思いを大切に、新たな児童の発想や構想へとつなげていくことである。造形遊びの活動途中に一人一人と指導者が対話する時間をつくる。児童がしている造形行為は言葉にするとどんな行為と言えるのか、なぜその材料を使ったのか、なぜその場所を選んだのか、児童のこだわりなどを適宜尋ね、児童の思いを的確に捉え、より深い造形活動へとつなげられるように支援・評価し、自信へとつなげていきたい。

3点目は、造形遊びを通して生まれた造形行為を振り返る場や作品を鑑賞する場を設定することである。活動途中においても、他の児童へも関心を向けられるように、他の児童がしている造形行為や工夫にも気づかせていきたい。そのために、活動途中に活動を止め、他の児童の活動を見る場や意見を言う場を設定することも考える。そこでは、他の児童の思いをくみとった見方や意見をするように留意させる。活動終了後には、今回の造形遊びで出てきた造形行為や自分の思い、他の児童の造形行為について振り返るとともに、空間全体としてはどんな作品になったのか鑑賞をさせる。同学年で鑑賞した後は、異学年の造形遊びについても鑑賞をさせる。同じ材料であるが、色が異なることでの作品の違いについて捉えさせたい。

以上の3点に留意し、児童の造形行為の数と質を高めるとともに、材料を「つなげる」ことを通して、一人一人の児童が他の児童とも「つながり」、想像をさらに広げて豊かな表現活動へと「つなげて」いけることを期待する。

5 題材の目標

- 材料の形や色などの造形的な特徴を理解し、材料や用具を活用しながら活動を工夫してつくることができる。 **【知識・技能】**
- 材料や場所、空間の特徴をもとに、造形的な活動を思い付いたり、周囲の様子を考えあわせたりして、自分が発想、構想したことを表現することができる。 **【思考力・判断力・表現力（表現）】**
- 表現の意図や特徴、表し方の変化について感じ取ったり、考えたりして、自分の見方や感じ方を深めることができる。 **【思考力・判断力・表現力（鑑賞）】**
- 材料や場所、空間の特徴をもとに、発想や構想したことをいろいろな方法で表現しながら造形活動を楽しもうとする。 **【学びに向かう力、人間性】**

6 題材で育成を目指す資質・能力と目標との関連

	資質・能力		5・6学年の汎用的な姿	題材の目標との関連
知識	知識・情報 (学ぶ力)	◎分からないことや知らないことに興味をもち、様々な手段で獲得しようとする。	・多角的な方法で情報を収集する。	知識・技能
スキル	メタ認知力 (ふりかえる力)	◎目標に沿って、自分や集団のあゆみを振り返り、次へ生かす。	・新たにわかったことをもとに、価値や自分との関わりについてまとめる。 ・学んだことをどのように生かしていくか考える。	思考力・判断力・表現力 (鑑賞)
意欲・態度	主体性・積極性 (自分から行動する力)	◎自ら課題をもち、粘り強く追究し、困難があっても解決しようとする。	・学習対象を総合的に考え、課題発見、追究、解決を繰り返す、学びを連続・発展させる。 ・困難なことがあっても、工夫、修正等をし、最後まで粘り強くやり切る。	学びに向かう力、人間性
価値観・倫理観	自己理解・自らへの自信 (自分を見つめる力)	◎自分を見つめ、自分のよさを伸ばしたり、課題を克服したりする。	・自分の強みを生かし、発展させる。 ・自分の意見や考え方に自信をもつ。 ・今後の自分の在り方について考え、行動する。	思考力・判断力・表現力 (表現)
	他者理解・他者との協働 (人を見つめる力)	◎他者を見つめ、他者のよさを認めたり、共に課題を解決したりする。	・相手のよさ、意見や考え方の違いを認め、受け止める。 ・多様性や立場の違いを認め、互いのよさを生かして、課題を解決する。	思考力・判断力・表現力 (鑑賞)

7 題材の評価規準 **【資質・能力】**

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力，人間性
第五学年	①赤，青，黄の材料である共通性とそれぞれの材料の特徴の違いを比べて，つなげ方を工夫している。 【知識・情報】	①材料や場所，空間の特徴をもとに，イメージを広げ，試しながら材料をつなげている。 【自己理解・自らへの自信】 ②活動する中や活動終了後に，自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり，考えたりして，さらに試しながら材料をつなげたり，自分の見方や考え方を深めたりしている。 【メタ認知力】【他者理解】	①材料や場所，空間の特徴をもとに，発想や構想したことをいろいろな方法で表現しながら造形活動を楽しんでいる。 【主体性・積極性】
第六学年	①同じ白色の材料である共通性とそれぞれの材料の特徴を比べて，つなげ方を工夫している。 【知識・情報】	①材料や場所，空間の特徴をもとに，イメージを広げ，試しながら材料をつなげている。 【自己理解・自らへの自信】 ②活動する中や活動終了後に，自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり，考えたりして，さらに試しながら材料をつなげたり，自分の見方や考え方を深めたりしている。 【メタ認知力】【他者理解】	①材料や場所，空間の特徴をもとに，発想や構想したことをいろいろな方法で表現しながら造形活動を楽しんでいる。 【主体性・積極性】

8 指導と評価の計画（全3時間）

	学習内容（時数）	評価				
		知技	思 判 表	学	評価規準	評価方法
一	○材料，場所，空間の特徴をもとに，「つなげる」活動を知り，造形活動を行う。（1）	○			・材料の共通性や特徴の違いを比べて，つなげ方を工夫している。	・行動観察 ・振り返りシート
	○材料，場所，空間の特徴を活かして，いろいろと試しなが		◎		・材料や場所，空間の特徴をもとに，イメージを広げ，試しな	・行動観察 ・振り返りシート

	ら造形活動を楽しむ。(1)			○	がら材料をつなげている。 ・材料や場所，空間の特徴をもとに，発想や構想したことをいろいろな方法で表現しながら造形活動を楽しんでいる。	・行動観察
	○造形活動のまとめをし，鑑賞をしながら，感じたことや考えたことを話し合う。(1) (3/3) 本時			○	・活動する中や活動終了後に，自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり，考えたりして，さらに試しながら材料をつなげたり，自分の見方や考え方を深めたりしている。	・行動観察 ・振り返りシート

9 学習の展開

(1) 本時の目標

- 表現の意図や特徴，表し方の変化について感じ取ったり，考えたりして，自分の見方や感じ方を深める。

(2) 本時の評価規準

- 活動する中や活動終了後に，自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり，考えたりして，さらに試しながら材料をつなげたり，自分の見方や考え方を深めたりしている。

(3) 準備物

- ・材料…①ポリ袋 ②すずらんテープ ③画用紙 ④PPロープ ⑤ガムテープ
⑥フェルト ⑦わりばし ⑧折り紙 ⑨毛糸 ⑩洗濯バサミ
(第5学年：赤・青・黄色，第6学年：白色)
- ・道具…はさみ，のり，セロハンテープ
- ・振り返りシート

(4) 学習の展開 (本時は学習活動5から)

5 学年			6 学年		
評価規準 (評価方法)	指導上の留意点	学習活動	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
		1 学習課題を確認する。	1 学習課題を確認する。		
材料, 場所, 空間の特徴を生かして, いろいろ試しながら「つなげ」よう。					
<ul style="list-style-type: none"> 材料の共通性や特徴の違いを比べて, つなげ方を工夫している。(行動観察, 振り返りシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 使用する材料を見せ, どんなつなげ方があるのか具体例を見せ, 想像を膨らませる。 使用する材料を見せ, 共通点, 相違点を整理させ, 材料の特徴をつかませる。 学習室へ行かせ, 場所や空間の確認をさせ, イメージを広げさせる。 	2 学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> 「つなげる」行為について確認する。 材料の特徴を確認する。(同じ: 赤・青・黄, 違い: 大きさ, 質感等) 場所, 空間の確認をする。 気をつけることを確認する。 3 造形遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料に触れる。 場所と空間から考える。 いろいろと試す。 	2 学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> 「つなげる」行為について確認する。 材料の特徴を確認する。(同じ: 白, 違い: 大きさ, 質感等) 場所, 空間の確認をする。 気をつけることを確認する。 3 造形遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料に触れる。 場所と空間から考える。 いろいろと試す。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用する材料を見せ, どんなつなげ方があるのか具体例を見せ, 想像を膨らませる。 使用する材料を見せ, 共通点, 相違点を整理させ, 材料の特徴をつかませる。 学習室へ行かせ, 場所や空間の確認をさせ, イメージを広げさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料の共通性や特徴の違いを比べて, つなげ方を工夫している。(行動観察, 振り返りシート)
<ul style="list-style-type: none"> 材料や場所, 空間の特徴をもとに, イメージを広げ, 試しながら材料をつなげている。(行動観察) 材料や場所, 空間の特徴をもとに, 発想や構想したことをいろいろな方法で表現しながら造形活動を楽しんでいる。(行動観察, 振り返りシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人と対話し, 意欲的に活動が行えるように声かけをする。 適宜, 活動を中断し, 自分の活動や友達の活動を見させる時間をつくる。 活動中の様子を写真に撮影し, 振り返りで使用できるようにする。 	4 活動を深める。 <ul style="list-style-type: none"> いろいろなつなげ方を考える。 自分の活動を整理する。 友達の活動を見る。 イメージを広げ, いろいろなつなげ方を考え, 深める。 	4 活動を深める。 <ul style="list-style-type: none"> いろいろなつなげ方を考える。 自分の活動を整理する。 友達の活動を見る。 イメージを広げ, いろいろなつなげ方を考え, 深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人と対話し, 意欲的に活動が行えるように声かけをする。 適宜, 活動を中断し, 自分の活動や友達の活動を見させる時間をつくる。 活動中の様子を写真に撮影し, 振り返りで使用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料や場所, 空間の特徴をもとに, イメージを広げ, 試しながら材料をつなげている。(行動観察) 材料や場所, 空間の特徴をもとに, 発想や構想したことをいろいろな方法で表現しながら造形活動を楽しんでいる。(行動観察, 振り返りシート)
<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり, 考えたりして, さらに試しながら材料をつなげている。(行動観察) 自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり, 考えたりして, 自分の見方や考え方を深めたりしている。(振り返りシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識させ, 仕上げをさせる。 教室に戻らせ, 落ち着いて活動を振り返らせる。写真を提示し, 活動を思い出させる。 学習リーダーを司会者とし, 振り返りを共有させる。 学習室へ行かせ, 異学年の活動から学ばせる。 今回の活動と社会とのつながりを認識させる。 	5 活動の仕上げをする。 <ul style="list-style-type: none"> 発想, 構想したことを具現化し, 完成させる。 6 振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを記入する。 各項目の共有をする。 7 第6学年の活動を見る。 <ul style="list-style-type: none"> 第6学年の活動を見ての感想を伝える。 8 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> 社会にある作品から同色を並べる美しさを感じる。 	5 活動の仕上げをする。 <ul style="list-style-type: none"> 発想, 構想したことを具現化し, 完成させる。 6 振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートを記入する。 各項目の共有をする。 7 第5学年の活動を見る。 <ul style="list-style-type: none"> 第5学年の活動を見ての感想を伝える。 8 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> 社会にある作品から同色を並べる美しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識させ, 仕上げをさせる。 教室に戻らせ, 落ち着いて活動を振り返らせる。写真を提示し, 活動を思い出させる。 学習リーダーを司会者とし, 振り返りを共有させる。 学習室へ行かせ, 異学年の活動から学ばせる。 今回の活動と社会とのつながりを認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり, 考えたりして, さらに試しながら材料をつなげている。(行動観察) 自分や友達の思いやつなげ方の工夫を感じ取ったり, 考えたりして, 自分の見方や考え方を深めたりしている。(振り返りシート)